

◎シナール配合顆粒 ・ ◎配合錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】アスコルビン酸+パントテン酸カルシウム ascorbic acid+calcium pantothenate 【分類】VC・パントテン酸カルシウム配合剤

【単位】◎1g/包 [アスコルビン酸200mg+パントテン酸カルシウム3mg/g] ・ ◎錠

【常用量】アスコルビン酸として200~1800mg/日

【用法】分1~3

【透析患者への投与方法】VCの欠乏には内服で100mg/日程度であれば高シュウ酸血症にはなりにくい (Morgan SH, et al: Nephrol Dial Transplant 3: 28-32, 1988)

【その他の報告】100~150mg/日の投与が望ましい (Kidney Int 43: 1319-28, 1993) VCの代謝物のシュウ酸が蓄積し、シュウ酸Caが組織に沈着するためVCとして100mg/日以下が望ましい (Nephron 39: 112-6, 1985) 腎不全患者は慎重投与 (1) 健常人にVCを大量投与しても尿中シュウ酸排泄量は増加しないという報告もある (Tang DC, et al: Kidney Int 55: 2477-86, 1999 およびJ Urol 151: 834-7, 1994) 【PD】100mg/日投与時、血中シュウ酸値は有意に上昇するが、VB6を10mg併用すると上昇は抑制できる (Am J Kidney Dis 20: 42-9, 1992)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr>50mL/min : 400mg/日, Ccr10~50mL/min : 200mg/日, Ccr<10mL/min : 100mg/日 (5)

【特徴】ビタミンCを主成分とし、更にもその作用を助けるパントテン酸カルシウムを配合した製剤。VCはメラニン色素の形成を抑制し、既成メラニン色素の還元を促進する。また結合組織の主成分であるコラーゲンの生成と保持に関与する。副腎皮質ホルモンの生成と体内利用にも関与する。

【主な副作用・毒性】消化器症状

【吸収】ほとんど吸収される (11)

【tmax】3hr (1)

【t1/2】16日 (11)

【蛋白結合率】結合しない (11)

【MW】176.12

【透析性】VC除去率56% (Lam YW, et al: Clin Pharmacokinet 32: 30-57, 1997) VCの透析性は約50%であるが、VC投与、非投与に関わらず、44hr後の透析前にはもとの値に戻る (Int J Vitam Nutr Res 67: 262-6, 1997) 透析で除去される (U) 【透析時CL】透析中のt1/2 : 7.5hr (8) 【透析CL】7.5mL/min (Lam YW, et al: Clin Pharmacokinet 32: 30-57, 1997)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない 【O/W係数】低い (11)

【更新日】20141227

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国特許権法並びに国際条約により保護されています。